

2026 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	頼 俊輔
演習テーマ	日本の地域再生を考える
演習の内容	<p>グローバル化のなかで、途上国では、児童労働、人権侵害、環境破壊、日本では、子どもやシングルマザーの貧困、地方の過疎化、過労死、孤立する外国人コミュニティ、など、経済活動によってもたらされる問題が数多く存在しています。自由な経済取引やヒトの移動が進む一方で、政府や自治体などの公共部門の役割は小さくなってきていますが、こうした問題への対応には、政府・自治体・NPO などが行う公共政策の役割が必要です。現代社会の問題について、グローバリゼーションと公共政策の関係を軸に、歴史を踏まえて長期的に考える、という方針でゼミを行っています。教員紹介はこちら http://mswwres.meijigakuin.ac.jp/~yisa/dw/?p=338</p> <p>上記の方針のもと、日本の地域再生をテーマにしてゼミを行います。近年、地方の過疎化が進み、なかには限界集落や、消滅するのではないかとされる地域まで出てきています。他方で、都市とは異なる価値を求めて地方へ移住する人が増えており、この動きはリモートワークの広がりによって、後押しされています。地方はなぜ衰退してきたか、どのようにして地域再生は可能か、について、関連するテキストを読むとともに、国内の特定の地域で実施予定の校外実習やゼミ合宿での地域経済の調査を通じて、考えてみたいと思います。22 年度の実習の様子はこちら https://www.youtube.com/watch?v=txjoPbsUXbk。</p>
テキスト・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・『地域づくりの経済学入門』 ・『公共政策のすすめ：現代的公共性とは何か』 ・『ポスト資本主義：科学・人間・社会の未来』 ・『地元経済を創りなおす——分析・診断・対策』など
成績評価の基準	課題の提出状況、出席状況、議論への参加状況をもとに評価します。
校外実習	（ <input checked="" type="checkbox"/> 実施する / 実施しない ）
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	長野県飯田市（地域経済の調査。2022 年度は岐阜県・郡上市、23 年度は長野県・阿智村、24 年度は長野県・飯田市。いずれも 3 年生の夏休みに実施。）。5 万円～10 万円くらい。
選考方法	小論文および面接。
小論文 (テーマ・書式・枚数、提出期限・方法)	<p>「〇〇の二十歳の頃」 自分が尊敬する人物〇〇（歴史上の偉人でも、お世話になった人でも、誰でも）を一人挙げ、その理由を記述する。そのうえで、その人物がどのようにして二十歳の頃を過ごしていたかを調べ、それがその後の生き方にどのような影響があったかを分析する（文献を参照し、インタビューした場合には、必ず文中に出所を示すこと）。</p> <p>2000 文字程度。A4 で 2 枚にまとめること（表紙は不要）。</p> <p>提出期限は、申込期限と同じ。</p>

メールアドレス	rai@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・ オフィスアワー	5月8日および15日（対面@8号館4階の研究室）の昼休み（いずれも12:40から）。上記のメールアドレスに予約の連絡をすること。
履修済・履修中であることが望ましい 授業	南北問題、地域経済論、環境経済論
2027・2028年度に 在外研究等で演習を 開講しない可能性	あり（2027・2028年度） / なし
認定留学期間中（演習 2・3開講学期中）の <u>遠隔指導*</u>	可 / 否 / その他（応相談）
備考	

* 「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。